

2026 年 8 月 27 日

報道機関 各位

国立大学法人東北大学
Beyond Next Ventures 株式会社

**Beyond Next Ventures と連携し、日印間の
人材交流・研究連携の拡大を目指す取り組みを開始**
—学生・研究者の相互交流と人材育成を起点に、
日印連携のさらなる発展を目指す—

【発表のポイント】

- 東北大学と Beyond Next Ventures が日印における人材交流・研究連携の拡大を目指すため、覚書を結び連携することになりました。
- 本連携は、それぞれの機関が有するネットワーク、知見や機能を活用し、ディープテック分野を中心とした、日印における学生・研究者相互交流を促進することを主な目的としています。
- 人材交流を基盤に両国の研究ネットワーク拡充に貢献するとともに、共同研究の深化や研究成果の社会実装、スタートアップ創出へむけて相互協力していきます。

【概要】

国立大学法人東北大学（所在地：宮城県仙台市、総長：富永 悌二、以下「東北大学」）は、Beyond Next Ventures 株式会社（所在地：東京都中央区、代表取締役社長／代表パートナー：伊藤 毅、以下「Beyond Next Ventures」）、と覚書（以下「本覚書」）を締結し、日印における学生・研究者の相互交流、人材育成、研究連携および共同研究成果の商業化推進に関する取り組みを 8 月 20 日に開始しました。

本連携では、本学と Beyond Next Ventures がそれぞれ有するネットワーク、知見や機能を活用し、ディープテック分野を中心として、日印における学生・研究者の相互交流を促進することを主な目的としています。そのうえで、人材交流を基盤として、両国の研究ネットワークの拡充に貢献するとともに、将来的には共同研究の深化や研究成果の社会実装、スタートアップ創出へとつながる可能性も視野に、相互に協力を行います。

【詳細な説明】

本覚書締結の背景

東北大学は2024年11月に文部科学大臣から国際卓越研究大学に認定され、世界トップレベルの研究とその成果の社会還元を担う大学として、国際的な研究・人材交流のさらなる深化に取り組んでいます。

2025年4月には、インド工科大学ボンベイ校との教育・研究連携を促進する枠組みである卓越連携機構^(注1)を創設し、災害科学、ロボティクスをはじめとする分野でダブルディグリープログラムを実施するなど、協力を深めています。

また、Beyond Next Ventures はこれまで、ディープテック^(注2)領域を中心に、研究成果の社会実装やスタートアップ創出に取り組んできました。加えて2020年に、インド・ベンガルールに子会社である「Beyond Next Ventures India Pvt. Ltd.」を設立し、インド専用ファンドを通じたスタートアップ出資や、インドのスタートアップエコシステムと日本企業をつなぐ取り組みを通じて、日印間のオープンイノベーションを推進してきました。

こうした背景は、日印間における人材・研究連携の機運の高まりとも重なっています。2025年8月の日印首脳会談では、今後5年間で50万人以上の双方向人材交流を目指す「日印人材交流イニシアティブ」が打ち出され、共同研究、事業化、大学間交流を含む産官学連携の強化が示されました。また、2025年4月から2026年3月までの1年間は「日印科学技術交流年」と位置づけられたことから、科学技術・イノベーション分野における相互補完的な協力の促進が期待されています。

本連携における取組

本連携では、本学とBeyond Next Ventures がそれぞれ有するネットワーク、知見や機能を活用し、ディープテック分野を中心として、日印における学生・研究者の相互交流を促進することを主な目的としています。そのうえで、人材交流を基盤として、両国の研究ネットワークの拡充に貢献するとともに、将来的には共同研究の深化や研究成果の社会実装、スタートアップ創出へとつながる可能性も視野に、相互に協力していきます。本覚書に基づく主な連携内容は、以下のとおりです。

- 日印間の学生・研究者の相互交流
- ベンガルールにおける活動拠点の提供
- 共同研究成果の商業化支援
- 研究者向けリーダーシップ教育に関する協力

Beyond Next Ventures は、本学による日本でのインド人学生・研究者の受け入れや、インド側の大学・研究機関との接点づくりを支援します。また、本学の学生、研究者または職員がベンガルールへ派遣される場合には、Beyond Next Ventures インド拠点の活用も想定しています。

さらに、本連携を通じて生まれた共同研究成果のうち、本学が商業化を目指す案件について、Beyond Next Ventures がその知見やネットワークを活かし、事業化に向けた支援を行います。

【Beyond Next Ventures 株式会社について】

Beyond Next Ventures 株式会社は、地球規模の社会課題の解決に挑む研究者・起業家とともに、研究成果を社会の価値へとつなぎ、その価値が次の研究と挑戦を生む好循環の創出を目指します。ディープテックスタートアップへの投資に特化した 480 億円のファンドを運用し、独自のカンパニークリエーション機能、数百名以上の経営人材マッチング、ディープテックに関わる国内外のキーパーソンが集う「TECHNIUM Global Conference」の実施などを通じて、資金・人材・ノウハウを結集し、産学官一体となって研究成果の社会実装を支えるエコシステムの構築を推進している。

【用語説明】

- 注1. インド工科大学との「卓越連携機構」：東北大学とインド工科大学ボンベイ校（IITB）が、教育・研究・産学共創を通してグローバル人材の養成とイノベーションエコシステムの創出に取り組む包括的な機関として 2025 年 4 月に設立したもの。
- 注2. ディープテック：特定の自然科学分野での研究を通じて得られた科学的な発見に基づく技術であり、その事業化・社会実装を実現できれば、国や世界全体で解決すべき経済社会課題の解決など社会にインパクトを与えられるような潜在力のある技術。

【問い合わせ先】

（報道に関すること）

東北大学グローバル戦略室

TEL: 022-217-4844

Email: kokusai-r@grp.tohoku.ac.jp

Beyond Next Ventures 株式会社

Email: india@beyondnextventures.com